

英語科学習指導案

平成30年8月27日(月) 第6校時 2年D組教室
 授業学級 2年D組(40名)
 授業者 指導教諭

- 1 題材名 Lesson 5 Uluru (NEW CROWN ENGLISH SERIES 2)
- 2 主眼
自分の行きたい国について紹介する場面で、その国についてタブレットで調べたり、ペアで文章を推敲したりすることを通して、行きたい国について理由とともに紹介文を書くことができる。
- 3 本時の位置 (全7時間中 第1時)
前時：・・・
次時：look + A
- 4 本時の評価規準
自分の行きたい国について、理由とともに文章を書くことができる。
- 5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
導入	1 本時の学習の見通しをもつ。	ア 自分の行きたい国について話すことができた。	◆行きたい国について、即興で教師とやりとりをする。 ◇教師自身の行きたい国についてスライドで写真を示しながら理由とともに紹介する。 ◇教師がモデルスピーチを示したのち、ウのような生徒の反応からToday's Goalを設定する。	8分	PC スライド コネクタ ワークシート
		イ スライドには写真のみ提示されていて教師は文章を見ていないようだ。 ウ 自分の行きたい国について、写真を提示しながら、みんなにも知ってもらいたい。			
Today's Goal : 自分の行きたい国について、理由とともに紹介文を書こう。					
展開	2 自分の行きたい国についてタブレットで調べる。	エ 世界遺産や有名な観光地などに行ってみよう。	◇タブレットをペアで交互に使うということを全体で確認する。 ◆タブレットを使って世界の国々について調べ、行きたい国を決定する。 ◇必要に応じて、ガイドブックも参考にしよう伝える。	10分	タブ レ ット ガイ ド ブ ック
		オ 英語を使って会話ができるところに行ってみよう。 カ きれいな風景の写真を見つけたのでその国を調べて行ってみよう。			
	3 自分の行きたい国について紹介文を書く。	キ 全体が見える写真にしよう。	◆紹介に使う写真を1枚選ぶ。 ◆自分が選んだ写真について紹介しながら、なぜその国に行きたいのかを説明する文章を書く。 ◇文章の構成について、モデル文を参考にするよう促し、できていない生徒には個別指導する。	15分	
		ク 「～がある」と言うときは「There is/are～」を使えばよかった。 ケ 教師のモデル文をもとに構成を考えたら、自分の考えもまとまってきた。			
開	4 文章の推敲を個人とペアで行う。	コ 分からない表現について、他の言い方で考えてみよう。	◆書いた文章を読み返し、不自然な表現がないか確認する。 ◇ペアでワークシートを交換し、訂正やコメントをする。 ◆友の紹介文を見て気がついたことや参考にしたいところについて、ワークシートに書き出す。 ◇机間指導で確認した数人の紹介文について全体で共有する。	7分	
		サ 言いたいことがうまく伝わったようでよかった。 シ ○○さんの紹介文は理由がはっきりしていて分かりやすい。 ス 同じ国について紹介していたが、自分よりも詳しく紹介していた。			
本時の評価規準に達していない生徒への手だて ・行きたい国がない、または見つからない生徒については、本を紹介したり、共に調べたりしながら興味を持てるよう支援する。					
終末	5 本時を振り返る。	シ 自分の行きたい国について、理由とともに紹介文を書くことができた。 ス 行きたい国について、自分の視点だけでなく、他者の視点や歴史・文化にも触れて紹介をすると、より深みが増す。 セ 行きたい国についてもう少し調べて、歴史や文化についても詳しく紹介してみたい。	◇本時の振り返りを学習カードに書くよう促し、全体で共有する。 ◇冒頭で教師が紹介した国について初めとは違う視点での見方を生徒にスライドで提示する。 ◇スやセのような振り返りから、今後の学習を通して、単元のゴールとして、歴史や文化なども含めて紹介できるようにしていくことを伝える。	10分	